

# 活動報告

## が か め が か こころ 画家の眼・画家の心



まずは作品を見て回ります。雪人さんと愛子さんは、描くものも、描き方も、色のつかいかたも、すごちがうね！



白い紙に、墨(すみ)一色で描かれた、雪人さんのおしゃかさま。でもよく見ると…金色がつかってあるよ！



下書きの線の上を、筆ペンでなぞってみます。けっこうむずかしいよ！  
画家の人って、やっぱりすごいね！



愛子さんのすてきな色のつかい方をヒントにして、たけのこに色をつけてみました。やさしい雰囲気の色づかいが、とってもすてき！

### 保護者の方へ

コレクション展「響きあう魂～山中雪人と水谷愛子～」をじっくり鑑賞するためのワークショップ、「画家の眼・画家の心」は、ちょっぴりさびしい開催となりました。今年は新型インフルエンザの影響もあり、特に体調を崩す子が多く、美術館としても心配しています。

さて、呉市立美術館も多くの作品を所蔵する山中雪人さんと水谷愛子さん、作品をご覧になった方も多いと思います。雪人さんは釈迦をテーマにしているのですが、子どもには少し難しいかな…と思っていたのですが、やはり力のある絵は子どもたちを引きつけるようで、真剣に作品を見つめる表情が印象的でした。また、愛子さんの独特の色づかいも、子どもたちはすんなりと受け入れ、その後の作品づくりでは楽しそうに個性的な作品を仕上げていました。

作品鑑賞、というと何だか構えてしまいがちですが、本物の作品を目の前で見る、ということは本当に素晴らしい体験です。鑑賞することに決まりはありません。見たいように見ていいし、自分の感じる気持ちに自信を持ってほしいと思います。絵を見ること、いろんな人の思いを聞くこと、創作すること、それらの体験は、きっとその人の中にやわらかな感性を育て、人生を豊かに、幸せにしてくれるに違いありません。

[\\* 教育普及のページに戻る \\*](#)